

兵庫版「キャリア・パスポート」の持ち上がり

(「令和4年度キャリア教育推進状況調査結果」から)

	小学校	中学校
上の学年へ持ち上がっている	97.7%	98.8%
次の校種へ持ち上がっている	100%	100%

学校種間では全ての学校で持ち上がっています。
今後は、内容面の連携についても充実していくことが重要です。

兵庫版「キャリア・パスポート」と「高校生キャリアノートモデル」の効果的な活用例

(「令和4年度キャリア教育に関する地区別中高連絡会(意見交換会)」から)

高等学校では、中学校から引き継いだ兵庫版「キャリア・パスポート」を、次のような方法で活用することが考えられます。中学校では、高等学校での活用の姿をイメージして兵庫版「キャリア・パスポート」を活用しましょう。

<活用例①>

(中) 1年間を振り返って (高) 高校生活をデザインする

これまでの自分自身
ができたこと
・課題となっていること

自分は何に挑戦するか
・どのような力を身に付けていくか

既に達成した目標や課題を踏まえた
新たな目標が設定できる。

<活用例②>

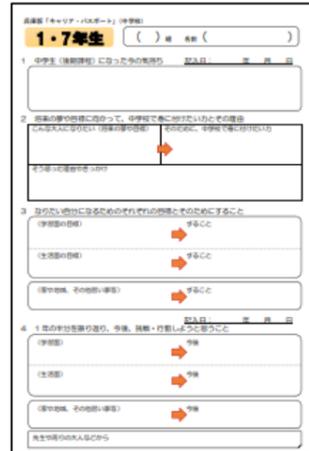
(中) トライやる・ウィーク (高) インターンシップ

戸惑いをどのように
乗り越えたか
・1週間のできたこと

どのように行動するか
・活動で身に付けたい力の設定
・活動後の振り返り

コミュニケーション能力、自己理解能力、
課題解決能力等の育成につながる。

【中学校】 兵庫版「キャリア・パスポート」



【高等学校】 高校生キャリアノートモデル



兵庫版「キャリア・パスポート」を活用することで、自分自身の成長を、「今」という「点」で捉えるだけでなく、過去の自分自身の成長の記録と結び付けてより広く、深く考えることができます。これらの活用例を参考に、中学校、高等学校のつながり(接続)を意識したキャリア教育の充実を図ることが大切です。

これまでのキャリア教育関係資料(兵庫県教育委員会)

キャリア教育に関する Web ページ(兵庫県教育委員会事務局)

義務教育課 <https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/01career/career.html>

高校教育課 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~koko-bo/06career/sub1-06career.html>



令和4年度 キャリア教育推進委員会 委員

<学識経験者>

筑波大学 教授 藤田 晃之 追手門学院大学 教授 三川 俊樹
兵庫教育文化研究所 事務局次長 武田 啓道

<学校関係者>

丹波篠山市立八上小学校 校長 小田 環 県立伊丹高等学校 校長 愛川 弘市
神戸市立飛松中学校 校長 佐々木 祐二 県立太子高等学校 校長 小田 昌史
稲美町立天満小学校 教諭 上村 麻里子 朝来市立朝来中学校 教諭 稲田 靖子
赤穂市立赤穂小学校 教諭 松岡 ともみ 淡路市立一宮中学校 主幹教諭 巽 史明

<教育行政関係者>

伊丹市教育委員会 指導主事 高木 賢一 県立教育研修所 指導主事 平野 雅子

編集・発行 兵庫県教育委員会事務局義務教育課 令和5(2023)年3月
連絡先 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL078-341-7711(代)

令和4年度

小・中・高12年間をつなぐキャリア教育充実事業



このリーフレットは
上の二次元コードから
ダウンロードできます

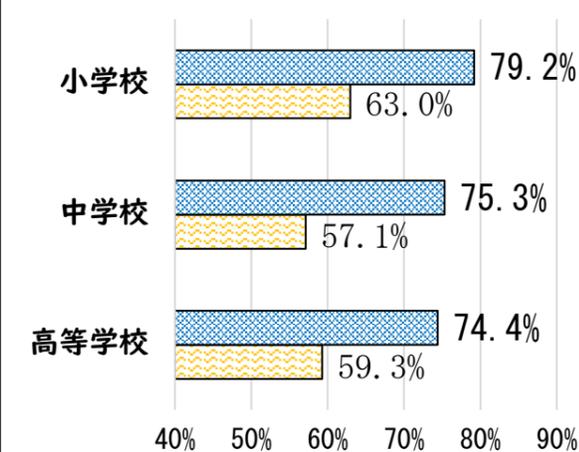
小・中・高をつなぐ キャリア教育の充実に向けて

兵庫県教育委員会

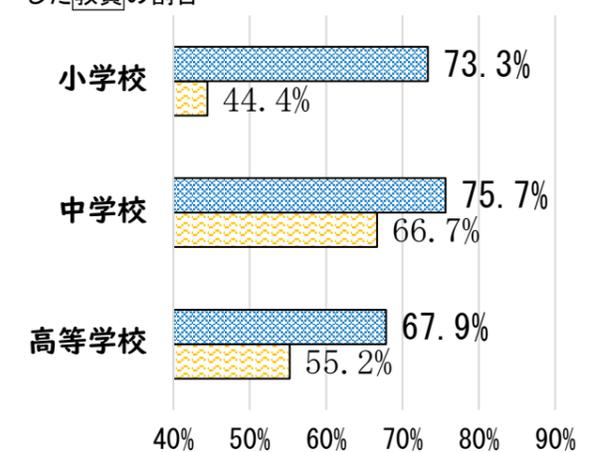
兵庫版「キャリア・パスポート」は 「書いて終わり」でなく「書いたものを活用」しましょう!

令和4年11月、兵庫県内の小・中・高等学校の児童生徒、教員を対象に、キャリア教育に関する調査を行いました。下のグラフは、これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」やキャリアノートの内容を学級活動で活用したことがある児童生徒や教員と、活用したことがない児童生徒や教員に分けた場合の結果を表したグラフです。

「学校で学んでいることと、将来の職業や生き方との
つながりを考えている」と回答した児童生徒の割合



「児童生徒はキャリア教育に関する学習や活動を通して、
自己の生き方や進路を主体的に考えている」と回答した教員の割合



■ これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」やキャリアノートを活用したことがある
□ これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」やキャリアノートを活用したことがない

これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」やキャリアノートの内容を学級活動で活用したことがある児童生徒ほど、「学校で学んでいることと、将来の職業や生き方とのつながりを考えている」と回答しています。

これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」やキャリアノートの内容を学級活動で活用したことがある教員ほど、「児童生徒はキャリア教育に関する学習や活動を通して、自己の生き方や進路を主体的に考えている」と回答しています。

キャリア教育を通して育む基礎的・汎用的能力に関する他の項目などでも同様の結果が見られることから、これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」やキャリアノートを活用することが有効であると考えられます。

<「令和4年度キャリア教育実態調査」について(令和4年11月実施)>

校種	小学校及び中学校(義務教育学校含む)	高等学校(県立高等学校)
学校数	小学校 40校(全市町から各1校を抽出) 中学校 40校(全市町から各1校を抽出)	20校(全県から抽出)
対象学年	小学校 第5・6学年 中学校 第1~3学年	第1~3学年
対象者	児童生徒 各学年2学級(小学校4239人、中学校7329人) 教員 学級担任(小学校129人、中学校279人)	各学年1学級(2112人) ホームルーム担任を中心(179人)

これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」を活用した学級活動の例(小学校 第5学年)を紹介します。中学校、高等学校の先生方も、各校種の学級活動(ホームルーム活動)の参考のためにご覧ください。



年間計画

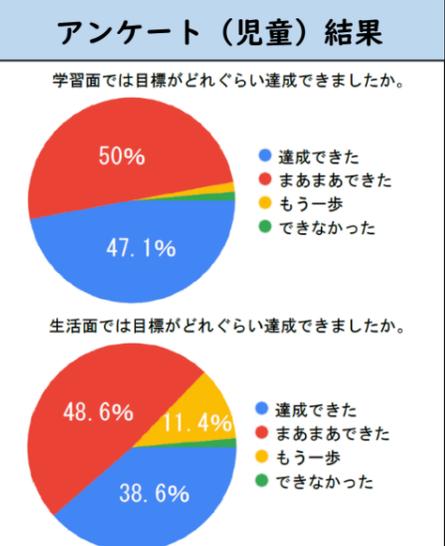
学習指導案

児童の実態

○約1ヶ月前に「自然学校」を終えた。
 ○自然学校での達成感を自信につなげられず、具体的に自分が「できること」「したいこと」などについて、すぐに答えられる児童が少ない。
 ○各教科や特別活動（学校行事等）を通して身に付けた力を自覚し、自分のよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりするところまでには至っていない。

事前の活動

○5年生前半を振り返ったアンケートを実施する（児童・保護者）。
 <指導のポイント>
 5年生としての学校生活が半分終わったことを確認し、4月の自分自身の様子を思い出しながらアンケートに答えるようにする。



本時の活動

つかむ	さぐる	見付ける	決める
<h4>課題の把握</h4> <p>5年生前半の学習と生活についての現状や課題をつかむ。</p>	<h4>原因の追求、可能性への気づき</h4> <p>今の自分を振り返り、「自分のよさ」「自分にもっとできること」「なりたい自分」についてさぐる。</p>	<h4>解決方法等の話し合い</h4> <p>「なりたい自分」になるためにどんなことが必要かを見付ける。</p>	<h4>個人目標の意思決定</h4> <p>自分の目標を決定し、ワークシート（キャリアノート）に記入する。</p>
<h4>学習過程</h4> <p>○これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」を振り返る。 ○アンケート（児童）の結果を学習面と生活面に分けて確認する。</p>	<h4>原因の追求、可能性への気づき</h4> <p>○アンケート（保護者）の結果を確認する。 ○「自然学校」でお世話になった指導員（リーダー）からのメッセージを聞く。</p>	<h4>解決方法等の話し合い</h4> <p>○具体的な個人目標を自分なりに考える。 ○班で自分の考えを発表したり、他者の考えを聞いたりする（「つながりタイム」）。</p>	<h4>個人目標の意思決定</h4> <p>○班で話したことを参考にし、自分の目標を決定する。 ○「トライやる・ウィーク」で小学校に来ていた中学生からのメッセージを聞く。</p>
<h4>授業の様子</h4>			
<h4>指導のポイント</h4> <p>○これまでに書いた兵庫版「キャリア・パスポート」を振り返ることで、自己理解につなげる。 ○アンケート（児童）の結果を活用し、「できていたこと」や「課題」を踏まえて、めあてを提示することで、自分事となるようにする。</p>	<p>動画（2次元コード）は、各学校に配布しているリーフレット等をご利用ください。 (6分02秒)</p>	<p>○ここまでの振り返りをもとに自分の課題に応じた目標を考えさせる。 ○話し合い活動を行うことで、他者の考えから自分の考えを広げ、深める中で、自分の考えを確かなものにする。</p> <p>動画（2次元コード）は、各学校に配布しているリーフレット等をご利用ください。 (11分46秒)</p>	<p>○話し合い活動で得られたことも参考にしながら、1週間という期間を決めて実行することについて考えさせる。 ○中学生のメッセージを聞くことで、将来の自分をイメージさせ、今後の意欲につなげる。</p> <p>動画（2次元コード）は、各学校に配布しているリーフレット等をご利用ください。 (2分09秒)</p>

板書写真

5年生 (なりたい自分) にレベルアップするために、今できることは何だろう

自分たちのよさ: 明るい、目かけ合える、教え合える、高め合える、協力、全カ!!、おもしろい、自分たちで楽しめ、さりげなく、友だちと交流

課題: 算数の分数計算、漢字、ノートまとめ、苦手なところの練習、マツト、家庭科の学習、発表

生活面: 毎日毎日登校、友だちの声が聴こえる、あいさつ、自然学校、時間みで多く、忘れ物

中学生からのメッセージ: 毎日自主学10分、時計をみる、自分からあいさつ、帰ったら宿題

自主学: 時間を守って行動する、無言で宿題をやる、5分前行動をする、時計を見る、そらじり集まる、すみずみまできれいにする

実行すること決定! 1週間チャレンジ!

時計を見て行動をする。2分前は番房? 4日(○) 7日(○) 8日(○) 9日(○) 10日(○) 11日(○) 14日(○)

あじかえり: この1週間チャレンジをして時間管理が上手になりました。次は、無言で1週間チャレンジをしたいです。

事後の活動①

○自分が立てた目標に向かって取り組む（「1週間チャレンジ」）。
 <指導のポイント>
 1週間分のチェックカードを使い、終わりの会等を利用して、「1週間チャレンジ」を振り返るようにする。

事後の活動②

○「1週間チャレンジ」を振り返って、現在の自分の思いをワークシートに書く。
 <指導のポイント>
 今後も目標を立てて取り組むことを継続していく大切さを伝える。

児童の兵庫版「キャリア・パスポート」

5年生

記入日: 5年 4月 19日

1 5年生になった今の気持ちやがんばりたいこと
 がんばりたいことはあそび、なるべく発表をするです。

2 1年の半分が終わって、自分がどのくらい達成できましたか。

達成できた (50%)

達成できなかった (47.1%)

達成できた (48.6%)

達成できなかった (38.6%)

達成できなかった (11.4%)

毎日自主学10分、時計をみる、自分からあいさつ、帰ったら宿題

無言で宿題をやる

5分前行動をする、時計を見る

そらじり集まる、すみずみまできれいにする

1週間チャレンジ

時計を見て行動をする。2分前は番房?

4日(○) 7日(○) 8日(○) 9日(○) 10日(○) 11日(○) 14日(○)

この1週間チャレンジをして時間管理が上手になりました。次は、無言で1週間チャレンジをしたいです。

児童のキャリアワークシート

なりたい自分 にレベルアップ

時間を守って行動する。無言で宿題をやる

5分前行動をする。時計を見る

そらじり集まる。すみずみまできれいにする

実行すること決定! 1週間チャレンジ!

時計を見て行動をする。2分前は番房?

4日(○) 7日(○) 8日(○) 9日(○) 10日(○) 11日(○) 14日(○)

あじかえり: この1週間チャレンジをして時間管理が上手になりました。次は、無言で1週間チャレンジをしたいです。